

第10回高知県木の文化賞

受賞作品紹介

木造建築物及び木造建造物の部

海洋堂かっぱ館

所在地：高岡郡四万十町打井川

- 発注者：株式会社奇想天外
- 設計者：株式会社若竹まちづくり研究所
- 施工者：有限会社成豊建設



木の文化県
こうち



高知県

施設の概要



この建築物は、地元四万十町の杉の丸太や赤土など天然素材をふんだんに使用し、昔ながらの職人の技と工夫を随所に取り入れて建築されており、周辺の四万十川支流の自然との景観にも溶け込む造りとなっています。

■完成時期：平成24年6月 施設概要：木造2階建 延床面積366.46㎡

選 評

- ・ファンタジーの世界を作る施設はフェイクに陥りがちであるが、木、土、茅、古瓦等の自然素材と職人の仕事で文化の域に留めている。敷地は山を背にした緑豊かな河の合流点に位置しそれぞれへの広がりとの関係性をもたせている。外部形態は多様な要素をまとい楽しく見せている。内部は展示室中央スロープによって立体的に巡回させ重層に空間利用し、開口部でデッキにつなぐ構成は内部の密度の濃さを外部に広げ息抜きの間を持たせてくれる。
- ・良かった要因として、地域の景観にピッタリのデザイン性をもったユニークな建物で、多くの地元の木が使われていた点や各々の木々の特性がフルに使われ、建物全体に遊び心や職人さん達が頑張った痕がみえていた点が高く評価したいと思いました。シンボルとなる建物から森や川への導入も木の文化賞の大きな要因となるのでは思った。県内には、この様な地形の地域が多くある中で、個性豊かな木を使った建物が出来ればと思いました。
- ・地域にとけこんでいて良かったです。かっぱ館についたとたん、わくわくしました。また、木がふんだんに使われていて、細部にまで気をつけているところに感動しました。



第10回高知県木の文化賞

受賞作品紹介

木造建築物及び木造建造物の部

障害者支援施設

あじさい園別館

所在地：高知市春野町秋山

- 発注者：社会福祉法人 高知小鳩会
- 設計者：西森啓史建築研究所、有限会社勇工務店設計室
- 施工者：ミタニ建設工業株式会社



木の文化県
こうち



高知県

施設の概要



この建物は、社会福祉法人高知小鳩会「障害者支援施設あじさい園（入所定員50名）」に住まう現利用者へのより良い住環境の充実をという思いから始まりました。計画の当初より建主の要望でもありました、施設を造るのではなく、「園生が終生安心して暮らせる家をつくる」というコンセプトを元に、建主、設計者共に木造にこだわって計画を進めてきました。

今回の規模や用途では、法的な耐火性能に関して厳しい条件が求められました。準耐火構造という条件の中で、木の持つ、ぬくもりや木組みの美しさを出来る限り内部にみせるように45分の耐火性能を有する「燃えしろ設計」という手法でつくっています。使用する木材はすべて県内産の杉材を使用し、その使用量は構造材だけで約400㎡にもなります。プレカットは使用せず、木材の加工は一つ一つが大工さんの手刻みによるものだけでつくられています。また、壁の仕上げは、外壁・内壁共に土佐漆喰を使用し、柔らかな白壁となっています。

木の建物の文化を支える上では、生産者、大工さん、それに関わる職人さんの知恵や技術に拠るものがとても大きく、その技術を後世に残していくことは木の文化の向上に欠かせません。木や土佐漆喰、土佐和紙などの素材が、ここで生活される方々に、そっと自然への繋がりをもたせ、「心をあつめて」という保護者や運営関係者、設計者の思いものせて、木の文化を守る艶やかな建物になるよう願っています。

■完成時期：平成24年7月 施設概要：木造2階建 延床面積1,157㎡

選評

- ・居住者に優しい素材と信じて木材を豊富に使い、法的に準耐火の必要な施設を木造化することに真摯に取り組んでいる。地場の自然素材を使い、職人の技術を生かし、太陽熱利用等の環境配慮も組み込みこんだ質の高い施設の実現は、木の文化賞に値すると評価した。
- ・障害者支援施設での木々を使うことの難しさの中で、別館の木々への想いは素晴らしい物だと思いました。不燃材を挟み込む工法や地元の紙などを取り込んで木と不燃材をうまく取り合わせをしている点は感心をしました。特にベンチや床の木々は障害者の方がリラックスしたり危険度から考えて、木の持つ暖かさや柔らかさ等は最適な材料であり、尿漏れなどでも拭けることなどを含めて高く評価しました。
- ・やさしいぬくもりで心が落ち着く建物でした。細部まで心配りがされていて、入居者の方々に寄り添った建物とと思いました。木材、漆喰、和紙が調和していて良かったです。

